

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成28年3月17日 (2016.3.17)

【公表番号】特表2015-513477(P2015-513477A)

【公表日】平成27年5月14日 (2015.5.14)

【年通号数】公開・登録公報2015-032

【出願番号】特願2014-555602(P2014-555602)

【国際特許分類】

**B 3 2 B 27/36 (2006.01)**

**B 3 2 B 27/00 (2006.01)**

**C 0 9 J 7/02 (2006.01)**

**C 0 9 D 5/00 (2006.01)**

**C 0 9 D 175/04 (2006.01)**

**C 0 9 D 175/06 (2006.01)**

**C 0 9 D 7/12 (2006.01)**

**C 0 9 J 123/02 (2006.01)**

**C 0 9 J 123/04 (2006.01)**

**C 0 9 J 129/14 (2006.01)**

**G 0 2 B 1/10 (2015.01)**

【 F I 】

B 3 2 B 27/36

B 3 2 B 27/00 D

C 0 9 J 7/02 Z

C 0 9 D 5/00 D

C 0 9 D 175/04

C 0 9 D 175/06

C 0 9 D 7/12

C 0 9 J 123/02

C 0 9 J 123/04

C 0 9 J 129/14

G 0 2 B 1/10 Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年1月28日 (2016.1.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 2 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 1 2 5 】

表 6

実施例	プライマー処理済み 基材 / PSA	適用方法	剥離直後： ガラスへの PSA 付着	24hr 後剥離： ガラスへの PSA 付着	72hr 後剥離： ガラスへの PSA 付着	1週間後剥離： ガラスへの PSA 付着
実施例 34	基材 C / PSA A	乾燥	なし	なし	なし	なし
実施例 35	基材 C / PSA B	乾燥	なし	なし	なし	なし
実施例 36	基材 D / PSA A	乾燥	なし	なし	なし	なし
実施例 37	基材 D / PSA B	乾燥	なし	なし	なし	なし
比較例 C7	基材 E / PSA A	乾燥	～25%	～5～10%	～5～10%	～5～10%
比較例 C8	基材 E / PSA B	乾燥	～5～10%	25～50%	25～50%	25～50%
実施例 38	基材 C / PSA A	湿潤	25～50%	なし	なし	なし
実施例 39	基材 C / PSA B	湿潤	25～50%	なし	なし	なし
実施例 40	基材 D / PSA A	湿潤	25～50%	なし	なし	なし
実施例 41	基材 D / PSA B	湿潤	25～50%	なし	なし	なし
比較例 C9	基材 E / PSA A	湿潤	25～50%	～5～10%	～5～10%	～5～10%
比較例 C10	基材 E / PSA B	湿潤	25～50%	25～50%	25～50%	25～50%

本発明の実施態様の一部を以下の項目 [ 1 ] - [ 21 ] に記載する。

[ 1 ]

第 1 ポリエステル表面及び第 2 ポリエステル表面を備える基材と、

該第 1 ポリエステル表面上にコーティングされた、架橋されたポリウレタン系プライマ

ーと、

該架橋されたポリウレタン系プライマーに隣接する光学的に透明な加熱活性化された接着剤と、を含む、物品。

[ 2 ]

前記架橋されたポリウレタン系プライマーが、ポリウレタン系分散物と架橋剤との反応生成物を含む、項目 1 に記載の物品。

[ 3 ]

前記架橋されたポリウレタン系プライマーが、ポリウレタン系、ポリエステル系ポリウレタン、ポリカーボネート系ポリウレタンプライマー、又はこれらの組み合わせを含む、項目 1 に記載の物品。

[ 4 ]

前記架橋されたポリウレタン系プライマーが、脂肪族ポリウレタン系又は脂肪族ポリエステル系ポリウレタンプライマーを含む、項目 1 に記載の物品。

[ 5 ]

前記架橋剤が、脂肪族ジイソシアネート、ブロックイソシアネート、メラミンホルムアルデヒド架橋剤、又はこれらの組み合わせを含む、項目 2 に記載の物品。

[ 6 ]

前記基材が多層基材を含む、項目 1 に記載の物品。

[ 7 ]

前記基材が配向フィルムを含む、項目 1 に記載の物品。

[ 8 ]

前記光学的に透明な加熱活性化された接着剤が、ポリアクリレートホットメルト接着剤、ポリビニルブチラル、エチレンビニルアセテート、アイオノマー、ポリオレフィン、又はこれらの組み合わせを含む、項目 1 に記載の物品。

[ 9 ]

前記第 2 ポリエステル表面上にコーティングされた、架橋されたポリウレタン系プライマーを更に含む、項目 1 に記載の物品。

[ 10 ]

前記第 2 ポリエステル表面上の前記架橋されたポリウレタン系プライマーに隣接する層を更に含み、該層が、光学的に透明な加熱活性化された接着剤層、硬化したアクリレート層、又は感圧性接着剤層を含む、項目 1 に記載の物品。

[ 11 ]

第 1 ポリエステル表面及び第 2 ポリエステル表面を備える基材と、

該第 1 及び第 2 ポリエステル表面上にコーティングされた架橋されたポリウレタン系プライマーと、

該第 1 ポリエステル表面上の該架橋されたポリウレタン系プライマーに隣接する感圧性接着剤層と、を含む、物品。

[ 12 ]

第 1 主面及び第 2 主面を備える第 1 グレージング基材と、

該第 1 グレージング基材の第 1 主面に接着されるフィルム物品を備える積層構成体であって、前記フィルム物品が

第 1 ポリエステル表面及び第 2 ポリエステル表面を備える基材と、

該第 1 ポリエステル表面上にコーティングされた第 1 の架橋されたポリウレタン系プライマーと、

該第 2 ポリエステル表面上にコーティングされた第 2 の架橋されたポリウレタン系プライマーと、

該第 1 の架橋されたポリウレタン系プライマーに隣接する第 1 の光学的に透明な加熱活性化された接着剤と、

該第 2 の架橋されたポリウレタン系プライマーに隣接する層と、を含む、フィルム物品と、

を備える、積層構成体。

[ 1 3 ]

前記第 2 の架橋されたポリウレタン系プライマーに隣接する層が、第 2 の光学的に透明な加熱活性化された接着剤を含み、第 1 主面及び第 2 主面を備える第 2 グレージング基材であって、該第 2 グレージング基材の該第 1 主面が前記第 2 の光学的に透明な加熱活性化された接着剤に接着されている第 2 グレージング基材を更に含み、それにより、前記フィルム物品が中間層物品を備え、前記第 1 グレージング基材、該中間層物品、及び前記第 2 グレージング基材がサンドイッチ構成を形成する、項目 1 2 に記載の積層構成体。

[ 1 4 ]

第 1 ポリエステル表面及び第 2 ポリエステル表面を備える基材を準備する工程と、  
前記第 1 ポリエステル表面又は  
前記基材の前記第 2 ポリエステル表面の少なくとも一方に硬化性プライマー組成物を適用する工程であって、該硬化性プライマー組成物が、  
ポリウレタン系分散物と、架橋剤と、を含む工程と、  
該硬化性プライマー組成物を乾燥する工程と、  
該基材及び該硬化性プライマー組成物を伸張しながら加熱し、  
該伸張したポリエステル表面上に架橋されたプライマー層を形成する工程と、  
該架橋されたプライマー層上に光学的に透明な加熱活性化された接着剤を適用し、  
光学的に透明な加熱活性化された接着剤層を形成する工程と、を含む、物品の製造方法

。

[ 1 5 ]

前記硬化性プライマー組成物が、前記基材の前記第 1 及び第 2 ポリエステル表面にコーティングされ、第 1 及び第 2 の硬化したプライマー層を形成する、項目 1 4 に記載の方法

。

[ 1 6 ]

前記伸張しながら加熱する工程が、少なくとも一方向に伸張する工程を含む、項目 1 4 に記載の方法。

[ 1 7 ]

前記伸張する工程が、2 軸方向に伸張する工程を含む、項目 1 6 に記載の方法。

[ 1 8 ]

第 2 の光学的に透明な加熱活性化された接着剤を前記第 2 の硬化したプライマー層に適用し、第 2 の光学的に透明な加熱活性化された接着剤層を形成する工程を更に含む、項目 1 5 に記載の方法。

[ 1 9 ]

硬化性材料を前記第 2 の硬化したプライマー層に適用して硬化し、前記第 2 の硬化したプライマー層に隣接する硬化した層を形成する工程を更に含む、項目 1 5 に記載の方法。

[ 2 0 ]

前記硬化した層が、ハードコート及び / 又は光学層を含む、項目 1 9 に記載の方法。

[ 2 1 ]

感圧性接着剤材料を前記第 2 の硬化したプライマー層に適用し、前記第 2 の硬化したプライマー層に隣接する感圧性接着剤層を形成する工程を更に含む、項目 1 5 に記載の方法

。

【 手 続 補 正 2 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 特 許 請 求 の 範 囲

【 補 正 対 象 項 目 名 】 全 文

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 特 許 請 求 の 範 囲 】

【 請 求 項 1 】

第 1 ポリエステル表面及び第 2 ポリエステル表面を備える基材と、

該第 1 ポリエステル表面上にコーティングされた、架橋されたポリウレタン系プライマーと、

該架橋されたポリウレタン系プライマーに隣接する光学的に透明な加熱活性化された接着剤と、を含む、物品。

【請求項 2】

第 1 主面及び第 2 主面を備える第 1 グレージング基材と、

該第 1 グレージング基材の第 1 主面に接着されるフィルム物品  
を備える積層構成体であって、  
前記フィルム物品が

第 1 ポリエステル表面及び第 2 ポリエステル表面を備える基材と、

該第 1 ポリエステル表面上にコーティングされた第 1 の架橋されたポリウレタン系プライマーと、

該第 2 ポリエステル表面上にコーティングされた第 2 の架橋されたポリウレタン系プライマーと、

該第 1 の架橋されたポリウレタン系プライマーに隣接する第 1 の光学的に透明な加熱活性化された接着剤と、

該第 2 の架橋されたポリウレタン系プライマーに隣接する層と、  
を含む、積層構成体。

【請求項 3】

第 1 ポリエステル表面及び第 2 ポリエステル表面を備える基材を準備する工程と、

前記基材の前記第 1 ポリエステル表面又は前記第 2 ポリエステル表面の少なくとも一方に硬化性プライマー組成物を適用する工程であって、該硬化性プライマー組成物が、ポリウレタン系分散物と、架橋剤と、を含む工程と、

該硬化性プライマー組成物を乾燥する工程と、

該基材及び該硬化性プライマー組成物を伸張しながら加熱し、該伸張したポリエステル表面上に架橋されたプライマー層を形成する工程と、

該架橋されたプライマー層上に光学的に透明な加熱活性化された接着剤を適用し、光学的に透明な加熱活性化された接着剤層を形成する工程と、  
を含む、物品の製造方法。